

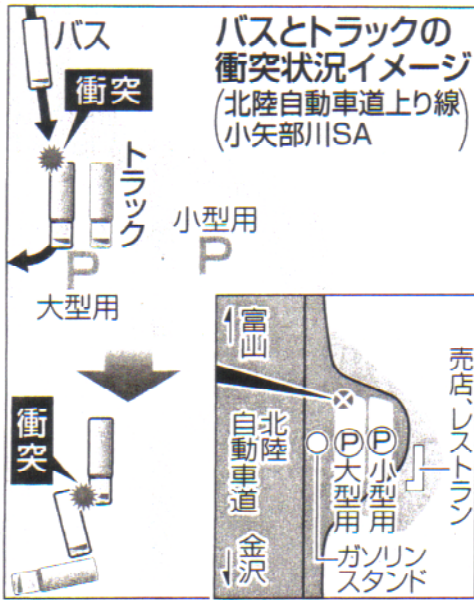
死亡の運転手 無呼吸症候群で要経過観察 バス会社「問題ない」

北陸自動車道の夜行バス事故で、バスを運行する宮城交通の青沼正喜社長が3日午前、仙台市の本社で記者会見し、謝罪した。死亡した小幡和也運転手(37)は昨年10月の睡眠時無呼吸症候群(SAS)の簡易検査で要経過観察と診断されていたことも明らかにしたが、社長は「問題のないレベルだ」と強調。年に2回の健康診断では異常はなかったという。

—27面参照

同社によると、夜行バスは起こしたのは事実で、大変申し訳ありませんでした」と深く頭を下げた。社長は3日

社長は記者会見に鈴木雅弘常務とともに出席。「事故を受けたもよう」との連絡を受け



大型トラックと衝突し、大破した夜行バス
＝富山県小矢部市の北陸自動車道小矢部川サービスエリア

たといい「あつてはならない事故で、現段階では理解できない」とうなされた。